

第1回 NPO法人のんびりすみちゃんの家 運営推進会議 記録

事業所名 住所	特定非営利活動法人のんびりすみちゃんの家 宮城県東松島市新東名四丁目11番地14
事業所名 住所 サービス種類 開催日時 出席者内訳	名称:NPO法人のんびりすみちゃんの家 住所:宮城県東松島市新東名四丁目11番14 サービス種類: 地域密着型通所介護 平成 28 年 8 月 19 日(金) 第1 回 10 :00 ~ 11 :00 合計 21名 事業者 4 名 氏名:代表、所長、生活相談員、事務員 利用者・家族 (13 名) 地域代表 2 名 氏名:東名区自治会長、東名区自治会事務局長 市・包括職員 2 名 氏名:東松島福祉課、東松島地域包括支援センター
議題	①代表より ②運営推進会議とは ③すみちゃんの家を紹介(スライドにて) ④デイサービスの暮らしぶり(スライドにて) ⑤意見交換
議事内容	① 代表より ・すみちゃんを家の運営理念は「のんびり とともに たのしく」 ・震災後、ボランティアの皆さんの支援を受け、震災の年の7月に再開。 ・津波で学んだこと →津波でてんでんこ(岩手県)震度5以上1分以上揺れたとき →日常的に話し合う 1. 集合場所 2. より安全な建物(3階以上) 3. 6時間以上戻らない 3つを合言葉に自己責任で生命力ある生活をし行動する。 ・運営推進会議とは 今年4月の介護保険改正に伴い、設置基準にあるように、おおむね6ヶ月に1回以上、地域住民の代表、行政関係者、家族様を招いて、要望、助言等を聴く機会を設けることとなった。(震災後、すみちゃんの家も10名定員の通所介護となっており、地域密着型通所介護という位置づけとなっている。) ③、④はスライドにて説明 ⑤意見交換 ●東松島市福祉課の方より 市内では地域密着型通所介護は8か所ある。市内のグループホームは5か所ある。グループホームは運営推進会議は2ヶ月に1回であるが、地域密着型通所介護は6ヶ月に1回である。季節の行事の様子を発表するところが多い。利用者様自身が、楽しんで過ごしていることが大事である。 ●東松島市地域包括支援センターの方より ともに穏やかに過ごすことが大事。施設の職員と交流が深まれば深まるほど、なかなか「こうしてほしい」とかいろいろなことが聞きにくくなるかもしれないので、改善してほしいことは、しっかり言えるような雰囲気作りをしていく必要がある。 ●東名地区自治会長様より なかなか普段では、分らなかったすみちゃんを家の様子がよく分かって良かった。 ●東名地区自治会事務局長様より 東名地区で生まれ、東名地区で育ったので、地域の方がこの地区で生き生きと過ごしている様子がわかったので良かった。

- 家族様より
 - ・ 人の中にいることが好きなおじいさんなので、すみちゃんの家を利用して安心してある。
 - ・ すみちゃんの家にお願いできて安心である。
 - ・ 地域に戻ってきて安心したようである。3度の食事をする事で生活のリズムができたようだ。
- 代表より
 - ・ 「自分がからしたいなあ」と思える場所を作っていきたい。スタッフには、「素直な心、やさしく、感謝の気持ち」をと伝えている。
 - ・ お年寄りも、スタッフもともに「成長する」ことを大切にしている。
 - ・ 「かけがえのない人生を、やさしく、しなやかに、豊かに」
- 所長より
 - ・ すみちゃんの家がNHKの番組になりましたが、今度海外でも放送の予定。



まとめ及び今後に活かしたい点

- ・ 当日に、場所の変更があったため、参加者の皆さんに、うまくご連絡できていなかった。
- ・ 当日のスタッフが、案内役と接待役と会議の準備役とうまくかかり分担ができずに、開始がスムーズにできなかった。
- ・ 地域の方や家族さんの思いに触れることができ、とてもよい時間であった。
- ・ 今度の運営推進会議では、開始時間を11時～にして、地域の方や市の関係職員の皆さんも昼食を召し上がっていただいた方がよいのではないだろうか。